

Boeing P-26A Peashooter

Hasegawa
ハセガワ

1/32スケール アメリカ陸軍追撃機 ボーイングP-26Aピーシューター



実機写真提供：航空情報 (AIRE VIEW)

《ボーイング P-26A ピーシューターについて》

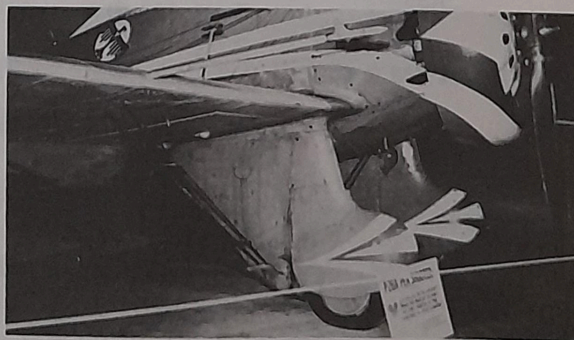
近代的な全金属製低翼式戦闘機の元祖ともいわれる傑作機です。アメリカの有名なボーイング社が、陸軍航空隊のために設計し、その原型は1932年3月20日に初飛行しました。そのあと改良されたP-26Aを主として、1936年までに各型合計151機が製作され、第2次世界大戦が始まる約5年前の平和な時代に、アメリカ陸軍の花形戦闘機になり、また輸出型の11機は中華民国空軍で使われました。

ヤンキー好みの美しい色で塗装され、一般の愛称はピーシューター（豆鉄砲）で、その名のように小型で軽量、運動性が良いのが特徴です。しかし、その頃は軍備縮少の時代なので、生産機数は少なく、一部の機体はフィリピンにも派遣されました。

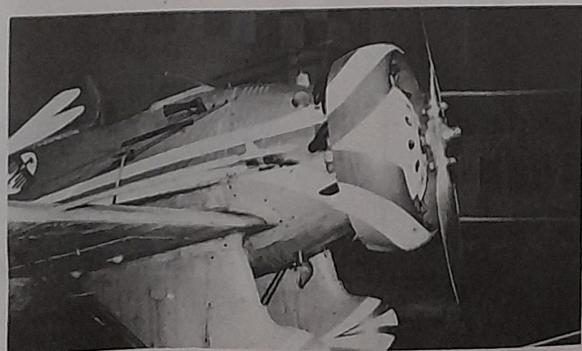
太平洋戦争が始まったときには、練習用戦闘機として少数機が残っていました。日本機の真珠湾攻撃のと

きには、すでに旧式中古機でありながら、ハワイの飛行場に14機が配属されていました。

構造的な特徴としては、機体を軽くするために、主翼を上下張線支持式にして、ズボン式覆いつきの固定脚を採用したこと、制式戦闘機では初めて着陸フラップをとりつけたこと、着陸事故などで転覆したときにパイロットを保護するために、頭当てのうしろを高くしたこと、などがあげられます。

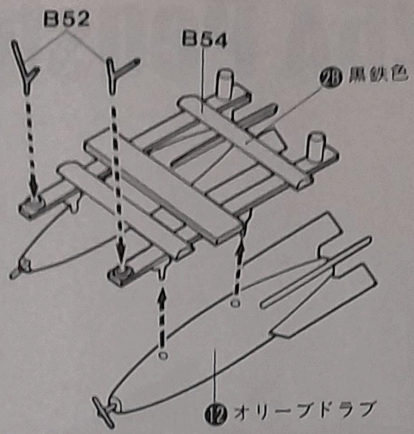
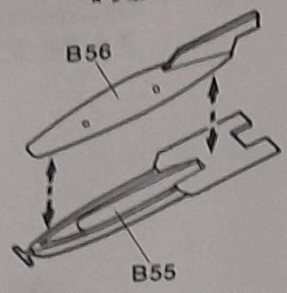


P-26Aのデータは、乗員 1名、発動機 プラット&ホイットニー R-1340-27 ワスプ 空冷式星型9気筒 500~600馬力、全幅 8.51m、全長 7.19m、主翼面積 13.88㎡、全備重量 1,367kg、最大速度 376km/h (高度1,830m)、着陸速度 109km/h、上昇時間 3,050mまで4分36秒、実用上昇速度 8,600m、航続距離 617km、7.7mm機関銃×2または7.7mm機関銃×1および12.7mm機関銃×1、戦闘爆撃機の場合は30ポンド (13.6kg) 爆弾×5または122ポンド (55.3kg) 爆弾×2を機関銃×2のほか

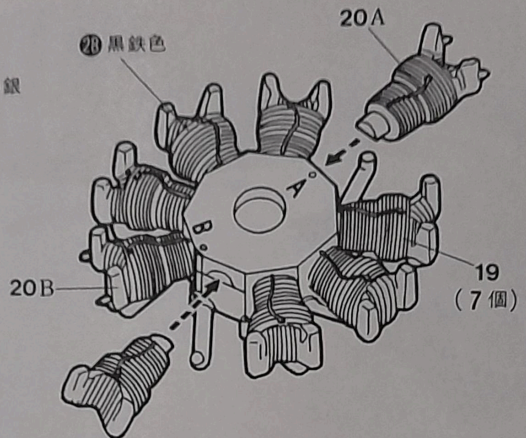
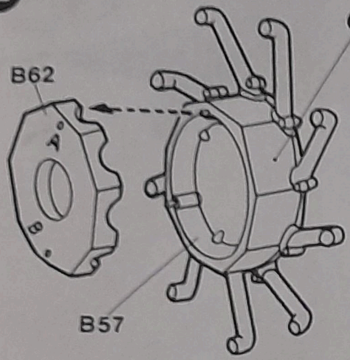


1 バウダンの組立て

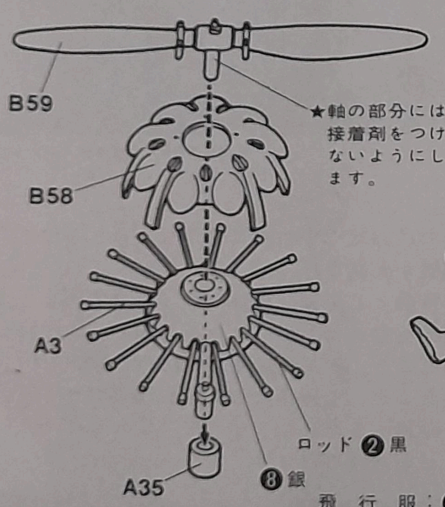
★2組組立てます。



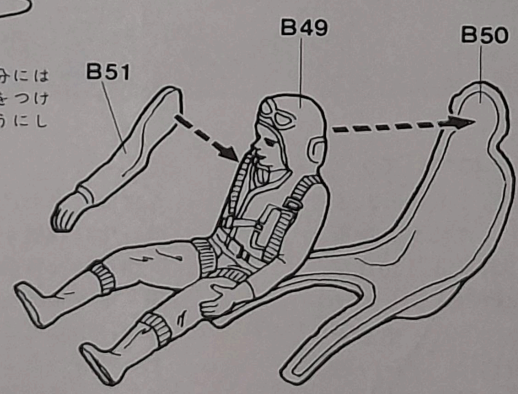
2 エンジンの組立て



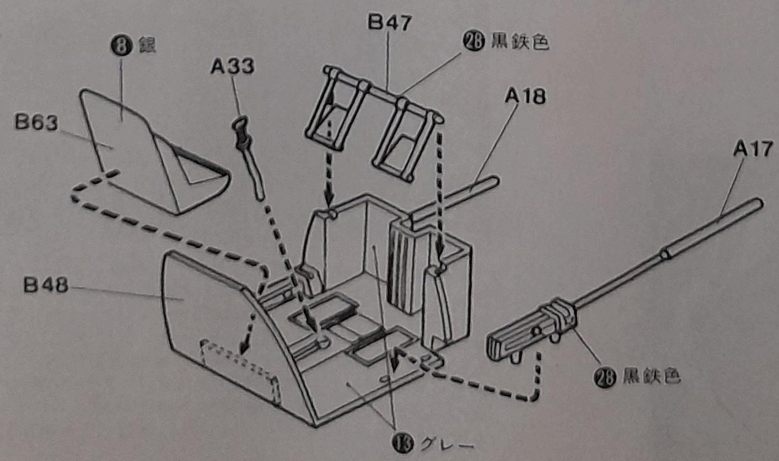
3 プロペラの取付け



4 パイロットの組立て



5 縦座席の組立て



くみてるまえに)

■説明書を一度全部読んでから、指示に従って製作してください。
★部品をランナーから切りはなす時はニッパー又はカッターを使ってください。



①-⑦の番号はモデルカラーの番号です。くみたてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

図-2 エンジン組立て参考図

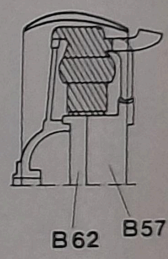
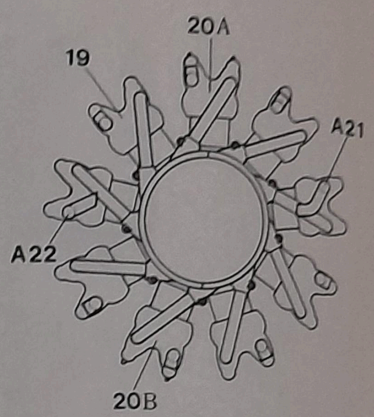
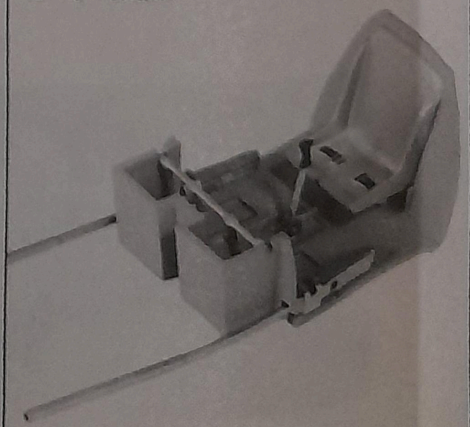


図-4 パイロット塗装参考写真



図-5 縦座席



6 脚、主翼の組立て
 ★車輪は可動ですので車輪に通すだけにします。

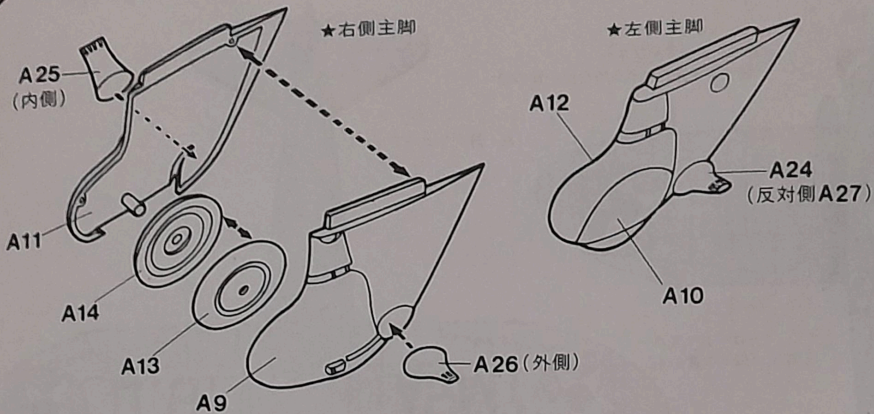


図-6 脚、主翼の組立て
 部品 A24、25、26、27はそれぞれ指定の位置に接着するように注意してください。
 車輪は A13と A14がありますから注意して接着します。

張線をおこなう場合は主翼上下面の穴から糸をひきだしておきます。

★翼上下面より糸を出しておく。

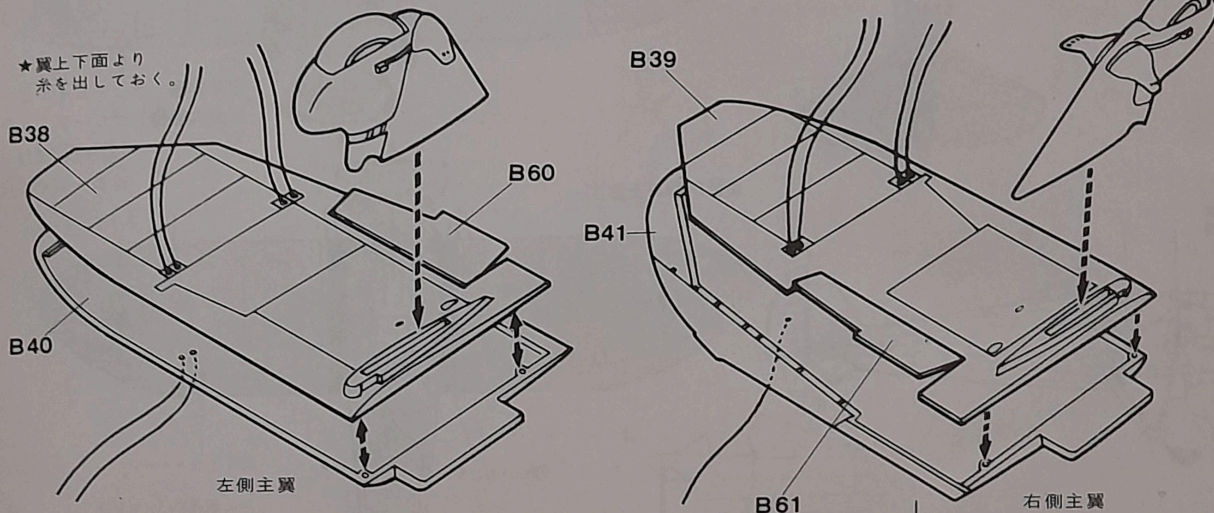


図-7 胴体の組立て
 胴体左右を接着するまえに尾輪 (A36)、計器板 (B64)、線縫席パイロットを接着します。

7 胴体の組立て

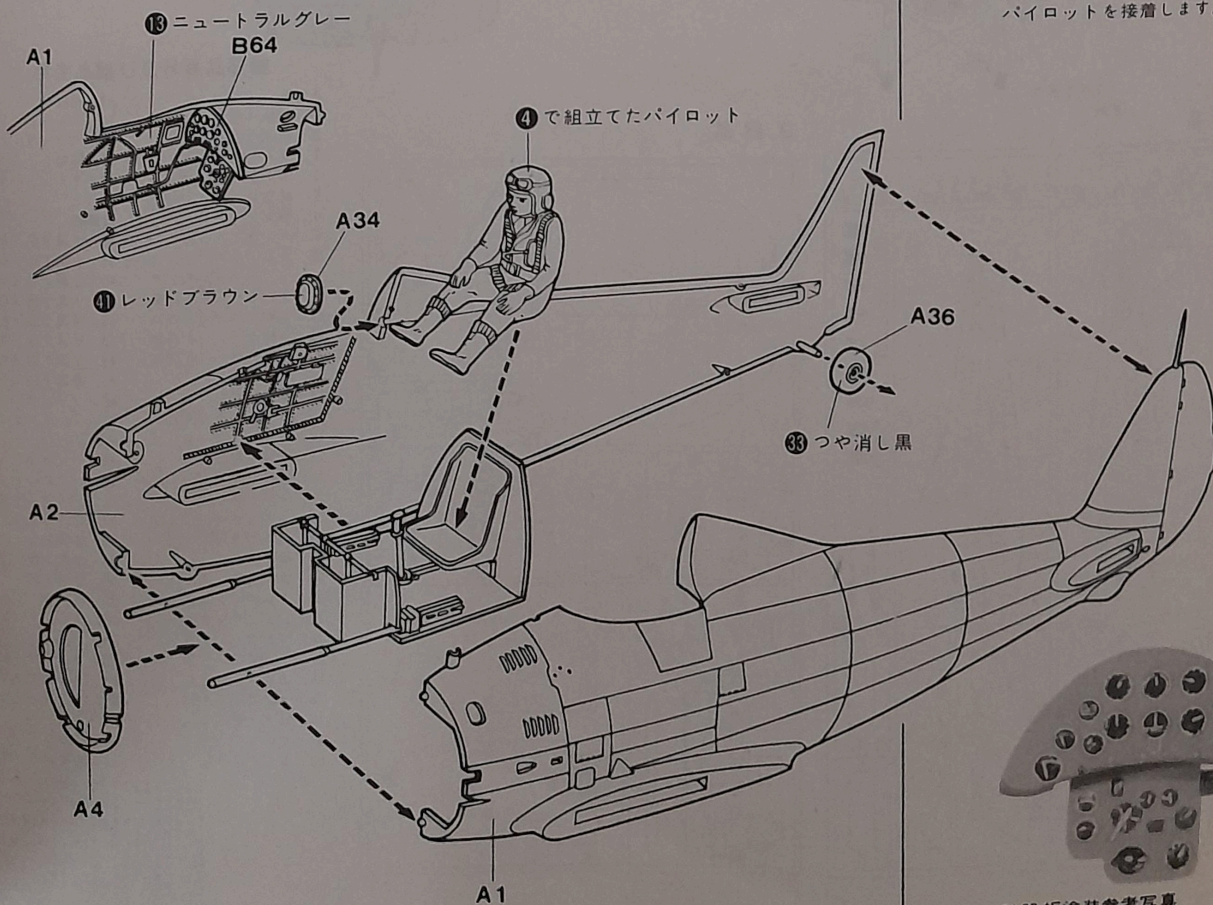


図-7 計器板塗装参考写真

8 主翼、尾翼の取付け

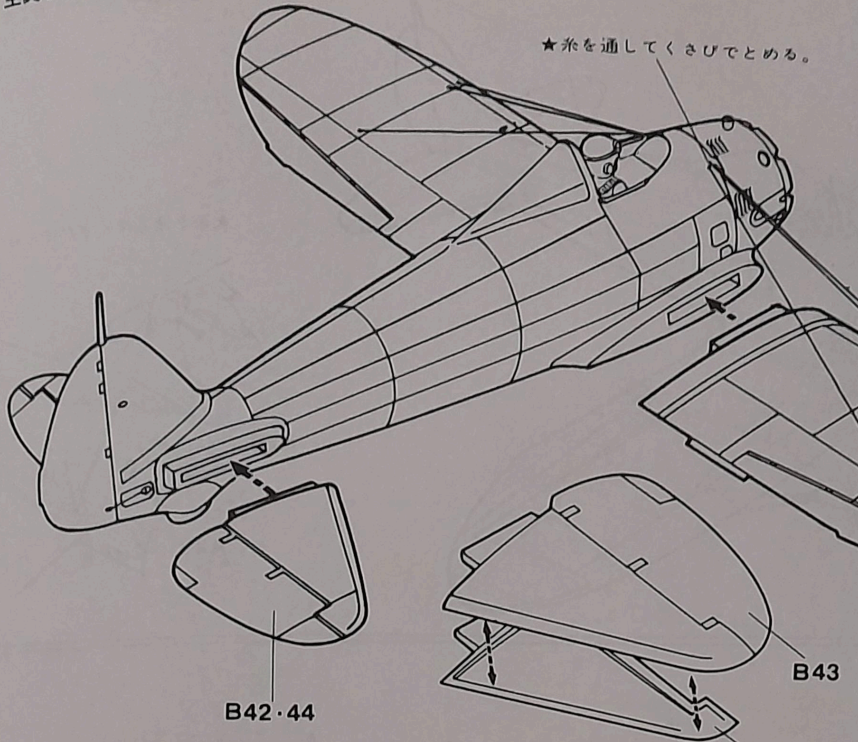
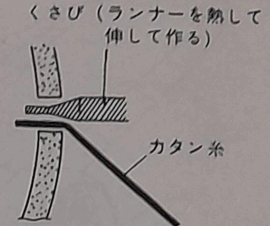


図-8 主翼、尾翼の取付け
主翼を胴体に接着してから張線を張ります。



くさび (ランナーを熱して伸して作る)
カタン糸
カタン糸ははったあとで水をつければピンとなります。

⑥で組立てた主翼

9 エンジンの取付け

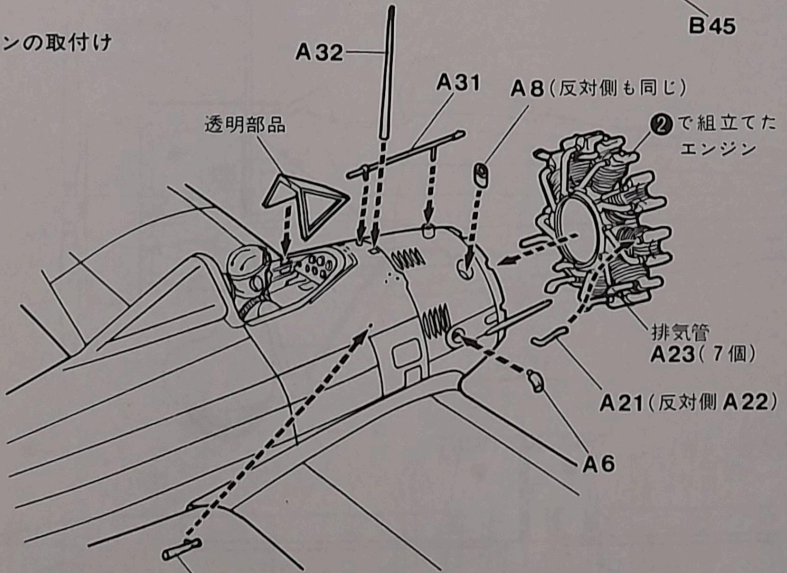
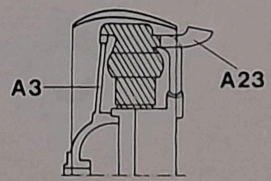


図-9 エンジンの取付け
②で組立てたエンジンを上下に注意して接着します。

排気管取付け参考図



10 部品の取付け

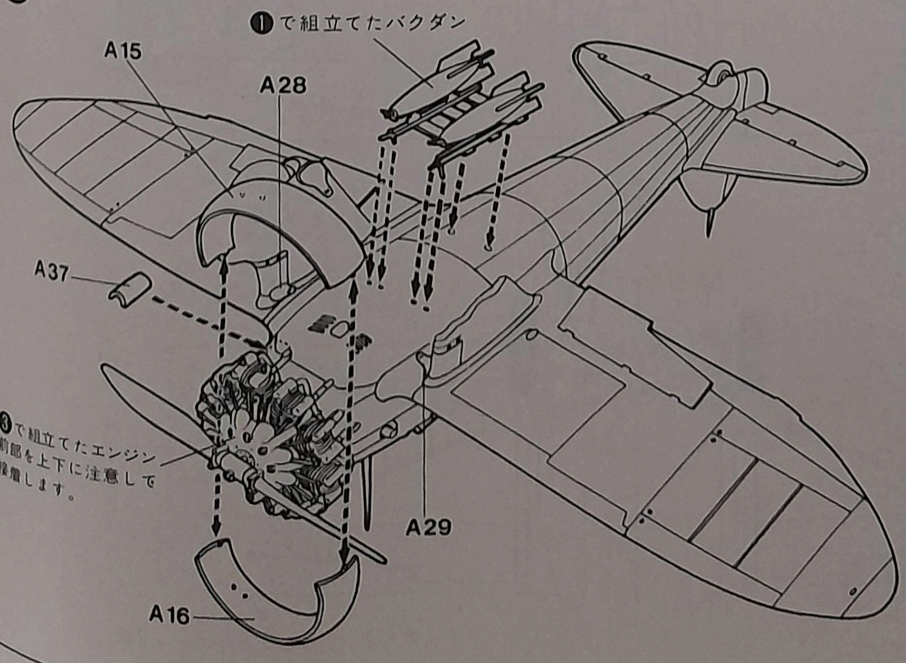


図-10 バクダン塗装参考写真

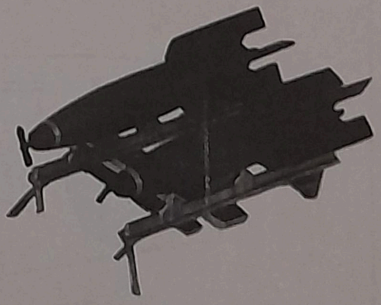
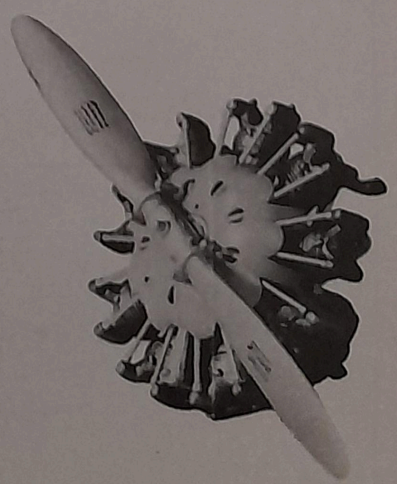
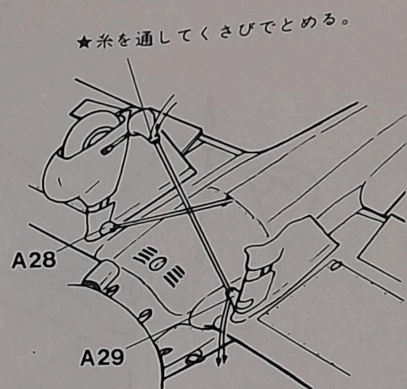
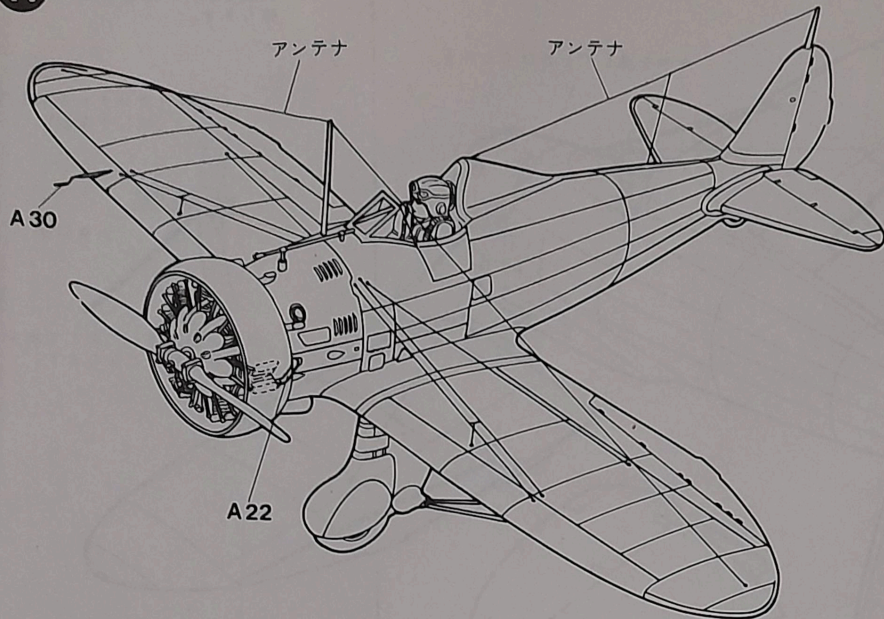


図-10 エンジン塗装参考写真

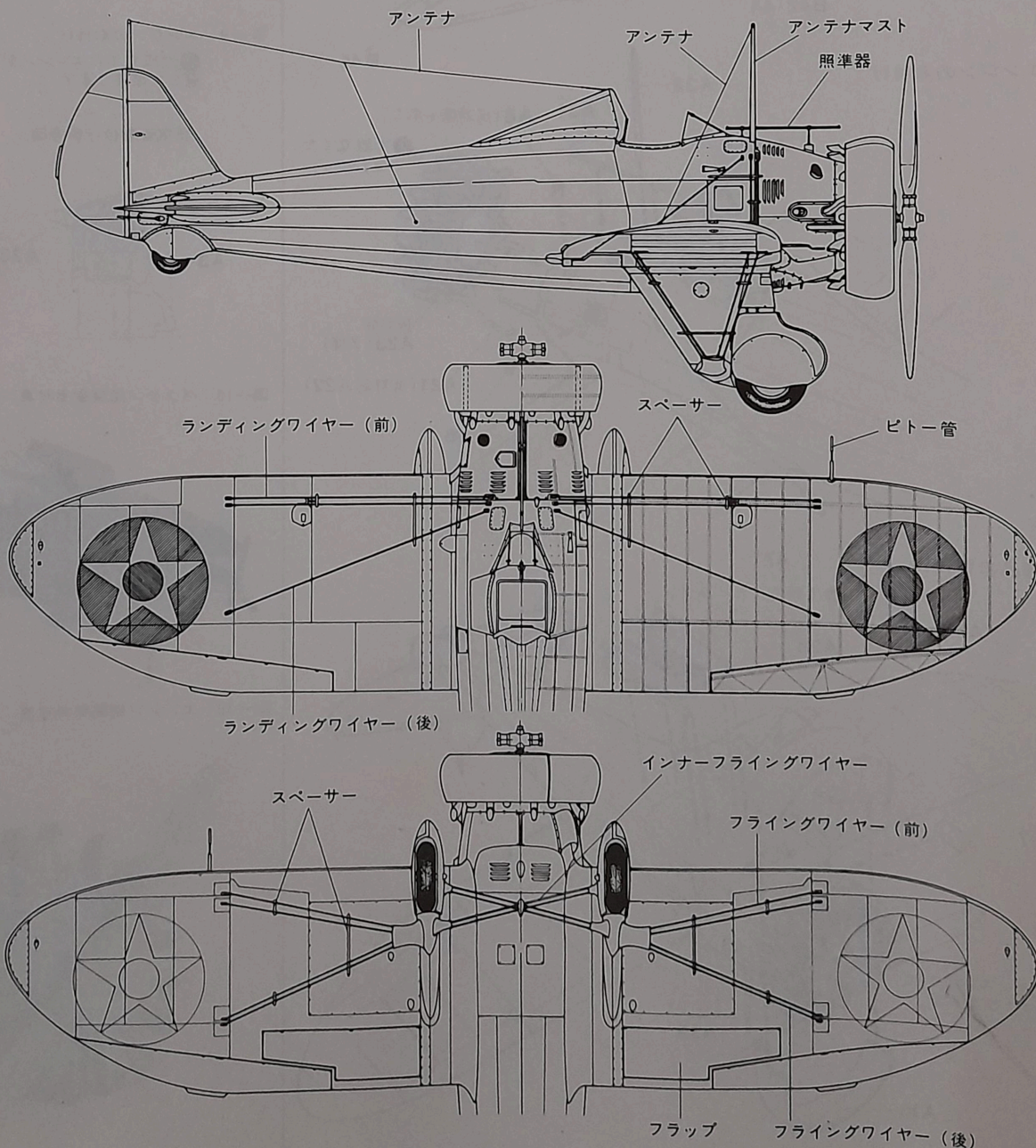


11 部品の取付け (2)

★張線、アンテナをはる場合は図-11、
下の張線参考図をみておこないます。

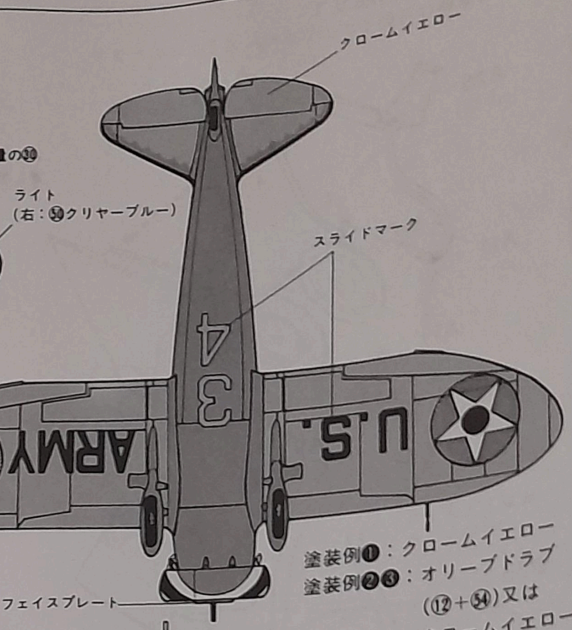
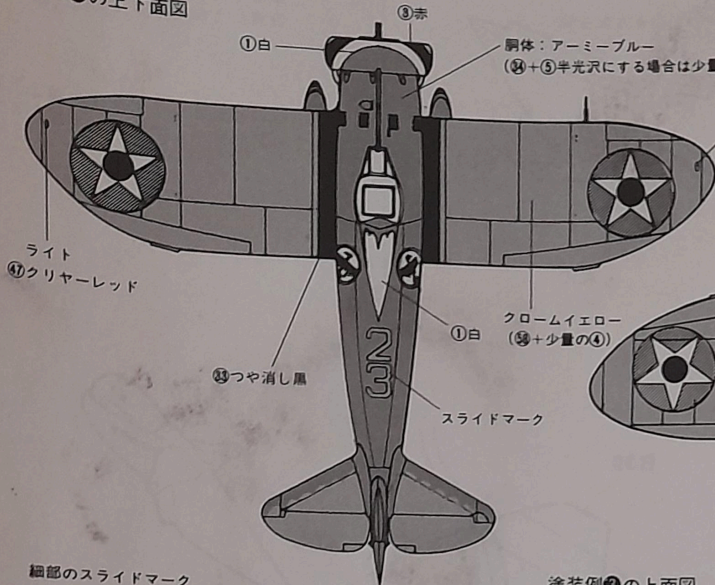


P-26Aピーシューター
張線参考図



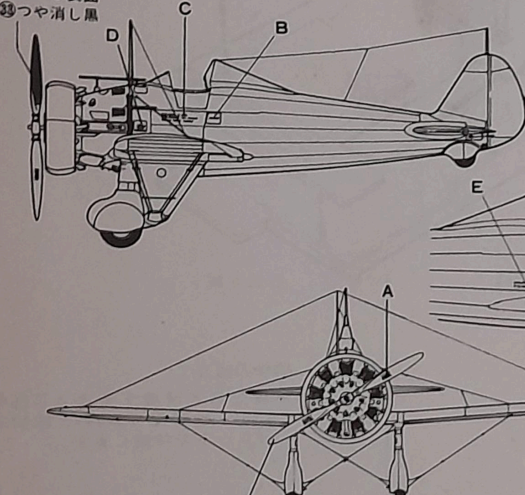
Marking & Color Painting Guide

塗装例①の上下図

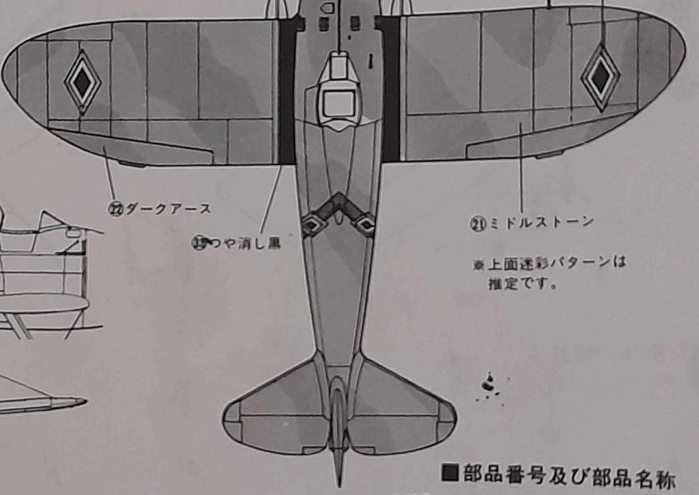


塗装例①: クロームイエロー
 塗装例②③: オリーブドラブ (⑫+⑭) 又は クロームイエロー

細部のスライドマーク



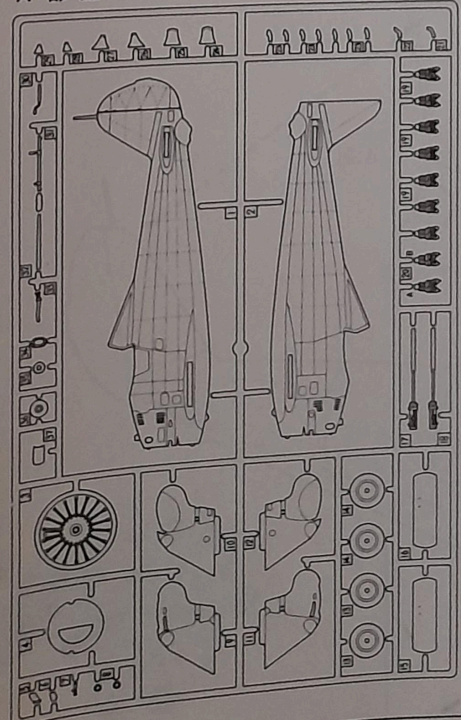
塗装例③の上図



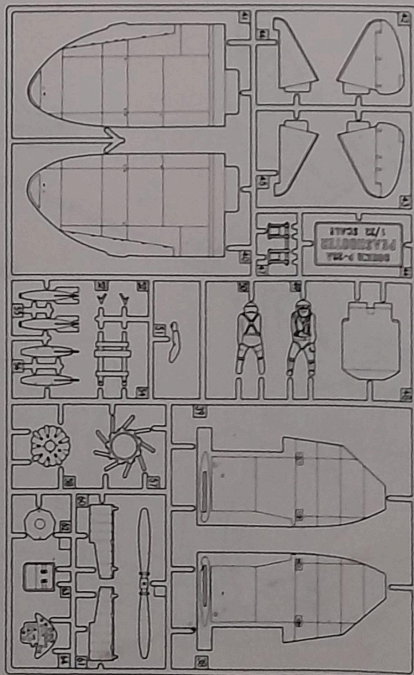
※上面迷彩パターンは推定です。

■部品番号及び部品名称

A 部品



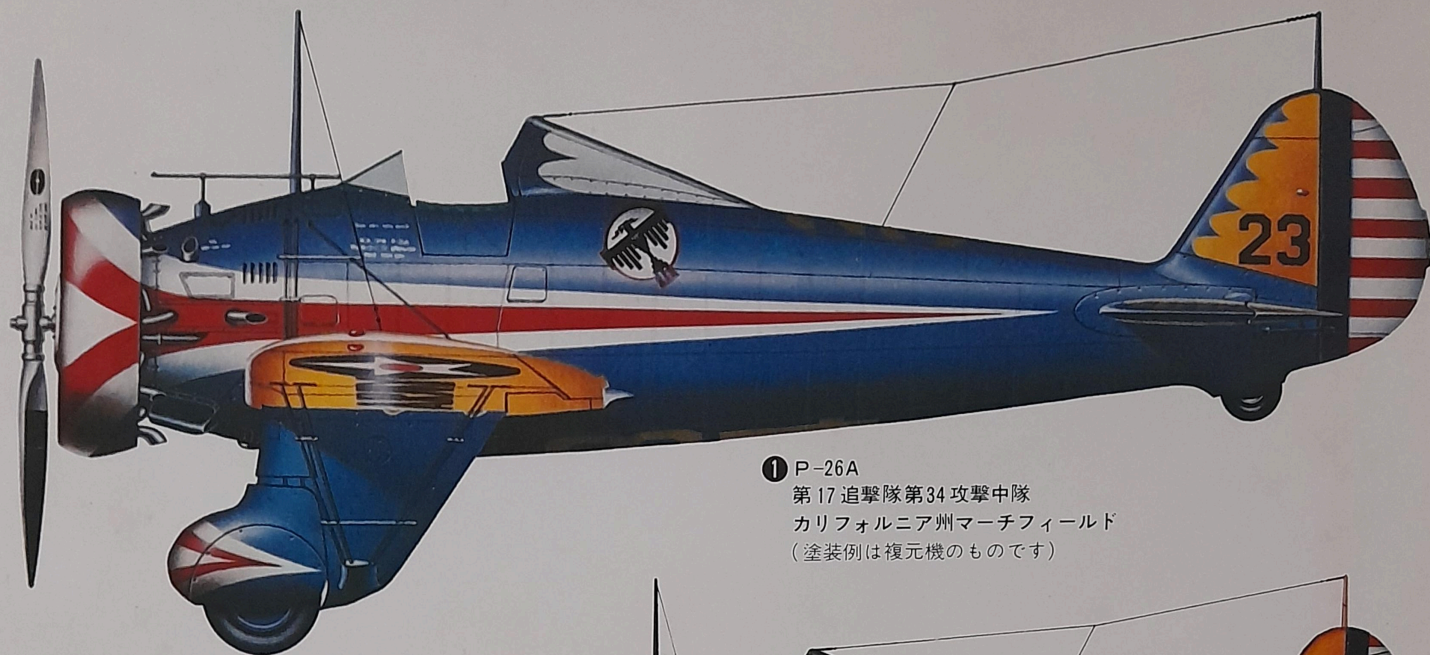
B 部品



- | | |
|-----------------|---------------|
| A 部品 | B 部品 |
| 1. 胴体 (左) | 33. 線縦桿 |
| 2. 胴体 (右) | 34. ヘッドレスト |
| 3. フッシュロッド | 35. プロペラ止め |
| 4. エンジン取付プレート | 36. 尾輪 |
| 5. 排気孔 (左) | 37. オイルクーラー |
| 6. 排気孔 (右) | |
| 7. ベンチュリー管 | B 部品 |
| 8. キャブレター | 38. 主翼下面 (左) |
| 9. エアインテイク | 39. 主翼下面 (右) |
| 10. 主脚カバー (右内側) | 40. 主翼上面 (左) |
| 11. 主脚カバー (左内側) | 41. 主翼上面 (右) |
| 12. 主脚カバー (右外側) | 42. 尾翼上面 (右) |
| 13. 主脚カバー (左外側) | 43. 尾翼上面 (左) |
| 14. 主車輪 (A) | 44. 尾翼下面 (左) |
| 15. 主車輪 (B) | 45. 尾翼下面 (右) |
| 16. カウリング (A) | 46. ネームプレート |
| 17. カウリング (B) | 47. フートベタル |
| 18. 機銃 (右) | 48. 床板 |
| 19. 機銃 (左) | 49. パイロット (A) |
| 20. シリンダー | 50. パイロット (B) |
| 21. シリンダー | 51. パイロット部品 |
| 22. 排気管 A | 52. 爆弾架支柱 |
| 23. 排気管 B | 54. 爆弾架 |
| 24. 排気管 C | 55. 爆弾 (A) |
| 25. フェアリング A | 56. 爆弾 (B) |
| 26. フェアリング B | 57. 吸気管 |
| 27. フェアリング C | 58. フェイスプレート |
| 28. フェアリング D | 59. プロペラ |
| 29. フェアリング E | 60. フラップ (右) |
| 30. ビトー管 | 61. フラップ (左) |
| 31. ガンサイト | 62. エンジンブロック |
| 32. ラジオマスト | 63. シート |
| | 64. 計器板 |

BOEING P-26A PEASHOOTER

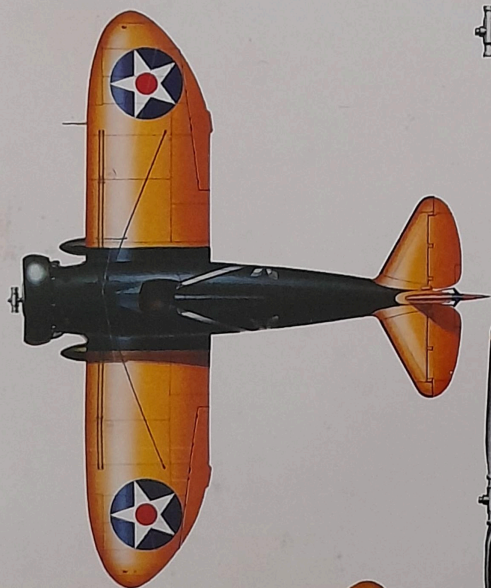
1/32スケール ボーイングP-26Aピーシューター
〈ハセガワ カラー ガイド〉



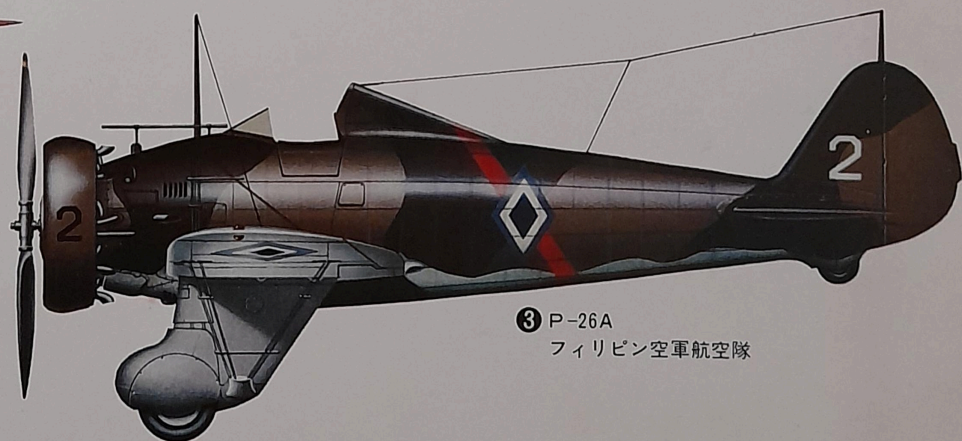
① P-26A
第17追撃隊第34攻撃中隊
カリフォルニア州マーチフィールド
(塗装例は復元機のもので)



② P-26A
第17追撃隊



塗装例④の
上下面図



③ P-26A
フィリピン空軍航空隊



④ P-26A
第17追撃隊第1追撃中隊

